

神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会		
開催日時	令和7年3月11日（火） 15時～17時		
開催場所	会議室		
（役職名） 出席者	倉本 恵（さわの里小学校長）、福元 摩湖（神奈川大学事務局次長）、 川出 道紀（関東学院大学事務局次長）、 金子 光則（氷取沢町内会長、上笹下連合自治副会長） 岡本 秀則（能見台1丁目自治会長）、 根本 ゆう子（上笹下地域ケアプラザ所長）、坪内 幸子（本校校長） （欠席） 伊藤 美加（県立金沢支援学校長）、岩松 玲子（横浜市立医富岡中学校長）、 桃井 貴裕（本校PTA会長）		
次回開催予定日	令和7年6月		
問合せ先	神奈川県立横浜氷取沢高等学校 副校長 光安 電話：045-772-0606 FAX：045-776-2468 メール y-hitorizawa-h@pen-kanagawa.ed.jp		
下欄に掲載 するもの	・議事録 ・議事概要	議事概要とした理由	
会議経過	<p>（委員からの主な質問及び意見）</p> <p>上した。横浜氷取沢高校は地域の活性化に寄与しており、保護者からも高い評価を受けていると思います。小学校では旧磯子高校を活用し、特別活動として全校鬼ごっこやイベントを実施し、保護者からも高評価を得ています。コロナを経験した子供たちには様々な影響があり、特に低学年の子供たちに行動の制御がかからないケースが増えていると報告されています。このような小学生の様子から、今後、高校進学時にどのような影響が出るか心配される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染拡大前に活動等が戻ってきて、先生方の準備等の負担が大きくなっていると感じた。感染症拡大中の対応も継続しているので、負担の増加を感じた。 ・大学でも学生のアンケートを実施している。学生への配慮希望を取ってみると、オンラインの希望があったりして対面授業の苦手意識がある学生もいるので、合理的配慮が課題。高校でも、ICTを活用して授業が行われていますが、サポートドックなどの対応を通して学校に馴染む生徒が増えてきているのだと感じた。 ・学校のイベントやニュースが充実してきていると感じる。さわの里小学校が地域の防災拠点になっているので、防災訓練を地域と連携して実施している。この前実施した時は中学生の生徒さんに参加してもらった。何とか高校生にも協力してもらいたいと考えている。 ・ホームページやSNSでの発信について、具体的な訪問者数やページの閲覧状況が把握されると良い。訪問者数や閲覧状況からHPの効果的な活用ができると思う。国際交流について、どのように生徒の変化があったのか聞きたい。 		

神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会開催結果

	<p>→国際交流を通じて生徒の積極性や国際性が向上している。外国からの訪問者に対してウェルカムな姿勢で接する生徒が多い。日常的に英語を聞き慣れていることが、国際交流活動の成果として現れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、地域ケアプラザでボランティア部の方たちと、さわの里小学校とが連携して学習支援活動「さわっちスタディープレイス」を実施していただいた。また、地域の方は、若い方とのコミュニケーションを取りたいと思っている。ご年配、お年寄りの方がいるところへ生徒さんが行くと非常に喜ばれると伺っている。
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度学校評価報告書「校内評価」 ・令和6年度不祥事ゼロプログラム検証結果 ・学校評価報告書「校内評価」係るご質問、ご意見集約依頼 ・生徒による授業評価（第2回）集約結果（概略版） ・令和6年度魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート集計結果